

令和3年度 公共事業再評価調書

1. 事業説明シート

(区分) 国補・県単

事業名	街路事業〔街路事業(国補)〕		事業箇所	甲府市城東～中央5丁目	地区名	(都)和戸町竜王線 (城東～中央5丁目工区)	事業主体	山梨県																																																										
計画期間	当初計画	現計画	(2) 評価項目〔事業を巡る社会経済情勢等の変化〕 (今回の再評価で変更がある場合、変更事項を説明するために必要な内容)																																																															
	H24～H32	H24～R7																																																																
総事業費	5,392 百万円	— 百万円	6,123 百万円	①地域・住民の意向状況 なし																																																														
(1) 事業の概要																																																																		
①事業目的及び効果				②産業・経済情勢 なし																																																														
<p>本路線は、甲府市和戸町から国道20号の竜王立体に至る4車線の幹線道路であり、県内道路ネットワークを構成する重要な路線の一つである。甲府中心市街地は公共交通機関が脆弱、かつ自動車交通によるアクセスが悪く、中心地の空洞化が進んでいる。このため本路線を整備し、甲府都市圏の道路ネットワークを形成し、アクセス性の向上を図り中心市街地の都市機能を再構築することが重要である。また、濁川改修事業と一体的に整備し、都市防災機能の強化も図る。</p> <p>□主要目標 ○市街地内の交通の円滑化 自動車交通量 12,065台/12h (H17センサス) >7,838台/12h (平日) 以上※ 混雑度 1.42 (H17センサス) >1.25以上※ ※評価基準値</p> <p>□副次目標 ○歩行者等の安全性の確保 □副次効果 ○良好な景観の創出 ○バリアフリー化の促進 ○ライフラインの強化 ○防火帯・延焼遮断帯の確保</p>				③国等の方針 なし																																																														
②事業概要				④上位計画・関連事業計画等																																																														
道路改良 L=578m W=12.0 (22.0) m				「山梨県総合計画」(令和元年12月策定)																																																														
車道幅員 12.0m (4車線) 歩道幅員 8.0m (両側)				「山梨県強靱化計画」(令和2年3月改定)																																																														
③全体計画				「山梨県社会資本整備重点計画(第4次)」(令和3年3月改定)																																																														
		令和2年度まで	令和3年度 (評価実施年度)	⑤自然環境条件等 なし																																																														
現計画	工事内容	測量設計 調査 用地取得・補償 道路改良工事	設計 用地取得・補償 道路改良工事	(3) 評価項目〔評価時点の費用対効果分析〕																																																														
		事業費 2,253 百万円	400 百万円																																																															
変更計画	工事内容	測量設計 調査 用地取得・補償 道路改良工事	設計 用地取得・補償 道路改良工事	<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>着手時点</th> <th>再評価時点</th> <th>変更時点</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総事業費</td> <td>5,392 百万円</td> <td>5,392 百万円</td> <td>6,123 百万円</td> </tr> <tr> <td>工期</td> <td>H24～R2</td> <td>H24～R7</td> <td>H24～R10</td> </tr> <tr> <td>評価基準年</td> <td>H23</td> <td>H28</td> <td>R3</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">費用</td> <td>建設費</td> <td>4,231 百万円</td> <td>3,907 百万円</td> <td>5,569 百万円</td> </tr> <tr> <td>維持管理費</td> <td>48 百万円</td> <td>4 百万円</td> <td>4 百万円</td> </tr> <tr> <td>その他()</td> <td>百万円</td> <td>百万円</td> <td>百万円</td> </tr> <tr> <td>便益</td> <td>7,749 百万円</td> <td>7,518 百万円</td> <td>7,223 百万円</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">経済効率性</td> <td>走行時間短縮</td> <td>5,669 百万円</td> <td>5,499 百万円</td> <td>5,421 百万円</td> </tr> <tr> <td>走行費用減少</td> <td>1,307 百万円</td> <td>1,268 百万円</td> <td>1,168 百万円</td> </tr> <tr> <td>交通事故減少</td> <td>773 百万円</td> <td>751 百万円</td> <td>516 百万円</td> </tr> <tr> <td>その他※</td> <td>百万円</td> <td>百万円</td> <td>118 百万円</td> </tr> <tr> <td colspan="2">B/C</td> <td>1.8</td> <td>1.9</td> <td>1.3</td> <td colspan="3"></td> </tr> </tbody> </table>					項目	着手時点	再評価時点	変更時点	総事業費	5,392 百万円	5,392 百万円	6,123 百万円	工期	H24～R2	H24～R7	H24～R10	評価基準年	H23	H28	R3	費用	建設費	4,231 百万円	3,907 百万円	5,569 百万円	維持管理費	48 百万円	4 百万円	4 百万円	その他()	百万円	百万円	百万円	便益	7,749 百万円	7,518 百万円	7,223 百万円	経済効率性	走行時間短縮	5,669 百万円	5,499 百万円	5,421 百万円	走行費用減少	1,307 百万円	1,268 百万円	1,168 百万円	交通事故減少	773 百万円	751 百万円	516 百万円	その他※	百万円	百万円	118 百万円	B/C		1.8	1.9	1.3			
		項目	着手時点						再評価時点	変更時点																																																								
総事業費	5,392 百万円	5,392 百万円	6,123 百万円																																																															
工期	H24～R2	H24～R7	H24～R10																																																															
評価基準年	H23	H28	R3																																																															
費用	建設費	4,231 百万円	3,907 百万円	5,569 百万円																																																														
	維持管理費	48 百万円	4 百万円	4 百万円																																																														
	その他()	百万円	百万円	百万円																																																														
	便益	7,749 百万円	7,518 百万円	7,223 百万円																																																														
経済効率性	走行時間短縮	5,669 百万円	5,499 百万円	5,421 百万円																																																														
	走行費用減少	1,307 百万円	1,268 百万円	1,168 百万円																																																														
	交通事故減少	773 百万円	751 百万円	516 百万円																																																														
	その他※	百万円	百万円	118 百万円																																																														
B/C		1.8	1.9	1.3																																																														
事業費	3,603 百万円	400 百万円	2,119 百万円																																																															

※現計画欄は計画値、変更計画欄は前年度までは実績値、当年度以降は計画値を記入。

④特記事項(関連事業概要等)
関連事業 新山梨環状道路北部区間・東部区間、(仮)和戸ICアクセス、濁川改修

⑤これまでの評価状況(平成28年度再評価)

関係機関との調整に多くの時間を要したが、概ね協議が整ったこと、新たな補助制度を活用し事業の進捗を図ること、事業完成により市街地へのアクセスは大きく改善されることから、事業を継続することが妥当。

費用便益分析マニュアルにより算出 採択基準値1.0以上
※その他は、CO2排出量削減便益、都市空間快適性向上便益

2. 評価シート

(4) 評価項目 [これまでの計画変更等の概要] 平成28年度公共事業評価委員会 事業期間 H24~R2→H24~R7 ・濁川河川改修事業と一体に行う必要があり、関係機関との調整に多くの時間を要したため。 ・事業対象地に筆界未定地があり、その処理に時間を要したため。			④事業期間の変更理由及び進捗予定 用地取得交渉が難航したことにより、工事進捗が遅れているため工期を3年延長する。未取得用地については、早期に用地買収を完了し、令和10年度の完成を目指す。											
(5) 評価項目 [事業進捗状況及び見込み]			⑤今後の事業執行における留意点 ・関連する河川事業や上下水道、ガス、N T Tの既設占用物の移設工事との工程調整。 ・未契約用地の取得。											
①進捗率 令和3年度進捗（現計画）55.9%→（実績）73.0%→（変更計画）65.4% 詳細は別表のとおり			(6) 評価項目 [環境負荷等への配慮] 本区間の周辺は、古くから市街化されている区域であり、自然環境への影響は少ない。植栽、及び電線類の地中化を実施する計画であり、良好な生活環境を確保する予定である。											
②進捗率実績が計画と相違している理由 一部の用地交渉において、事業への理解を得るのに3年の期間を要したことによる。														
③総事業費の変更内容 <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>変更工種等</th> <th>事業費増減</th> <th>変更理由</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>用地取得・補償</td> <td>480 百万円 増減</td> <td>補償費の上昇に伴う増額</td> </tr> <tr> <td>工事費</td> <td>251 百万円 増減</td> <td>労務単価の上昇に伴う増額</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>731 百万円 増</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				変更工種等	事業費増減	変更理由	用地取得・補償	480 百万円 増減	補償費の上昇に伴う増額	工事費	251 百万円 増減	労務単価の上昇に伴う増額	合計	731 百万円 増
変更工種等	事業費増減	変更理由												
用地取得・補償	480 百万円 増減	補償費の上昇に伴う増額												
工事費	251 百万円 増減	労務単価の上昇に伴う増額												
合計	731 百万円 増													
(7) 評価項目 [コスト削減の可能性] なし			(8) 評価項目 [代替案立案の可能性] なし											
(9) 所管部の今後の方針 継続 見直し継続 ・ その他 () (理由) 幹線道路ネットワーク、生活道路及び将来的には新山梨環状道路へのアクセス道路として重要な路線であり、変更計画に基づき、令和10年度の完成を目指す。														

○別表-進捗率（事業費ベース）

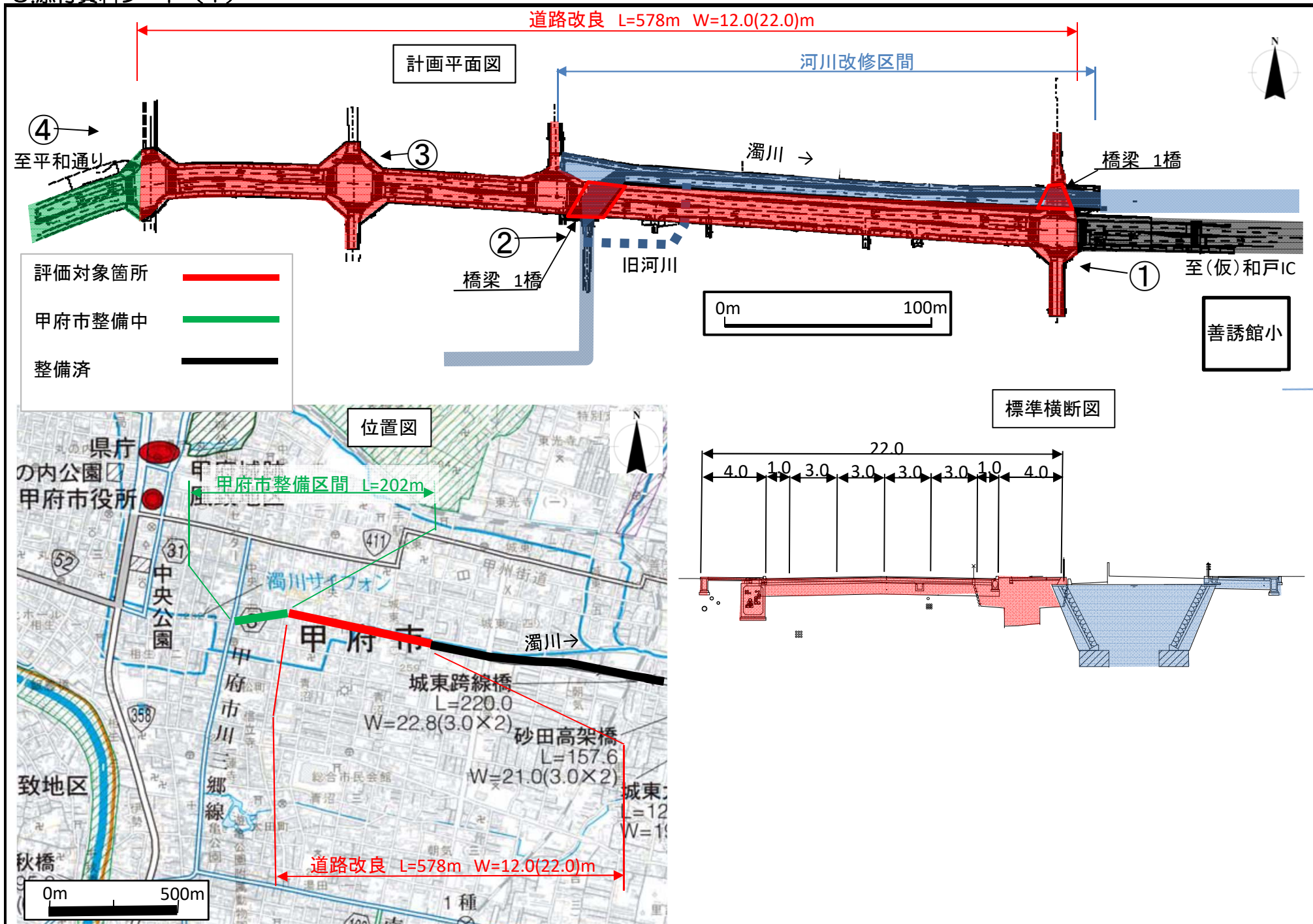
算出方法：【上段】現計画の計画事業費／総事業費×100 【中段】現計画の実績事業費／総事業費×100 【下段】変更計画の計画事業費／総事業費×100 単位：%

	年度	*H24	H25	H26	H27	*H28	H29	H30	H31	R2	*R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	
現	計画	0.4	1.1	3.1	4.0	4.7	14.0	23.3	33.6	44.8	55.9	67.0	78.1	89.3	100				
	実績	0.4	1.0	2.7	3.5	4.1	16.5	32.9	50.7	58.9	73.0								
変更計画											65.4	71.9	78.5	85.0	89.9	94.8	98.0	100	

*事業着手年度又は評価年度

*R3年度の実績は見込み

3. 添付資料シート (1)



3. 添付資料シート (2)

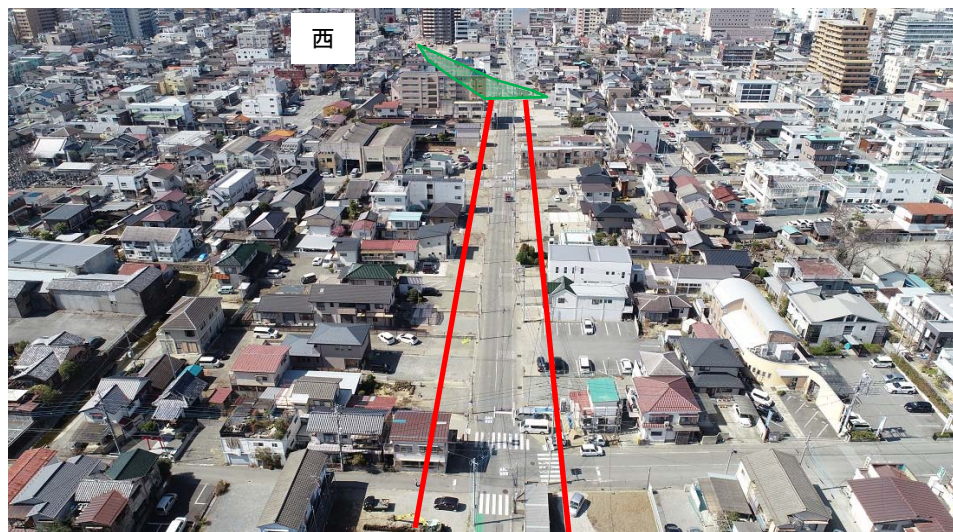
① 起点箇所



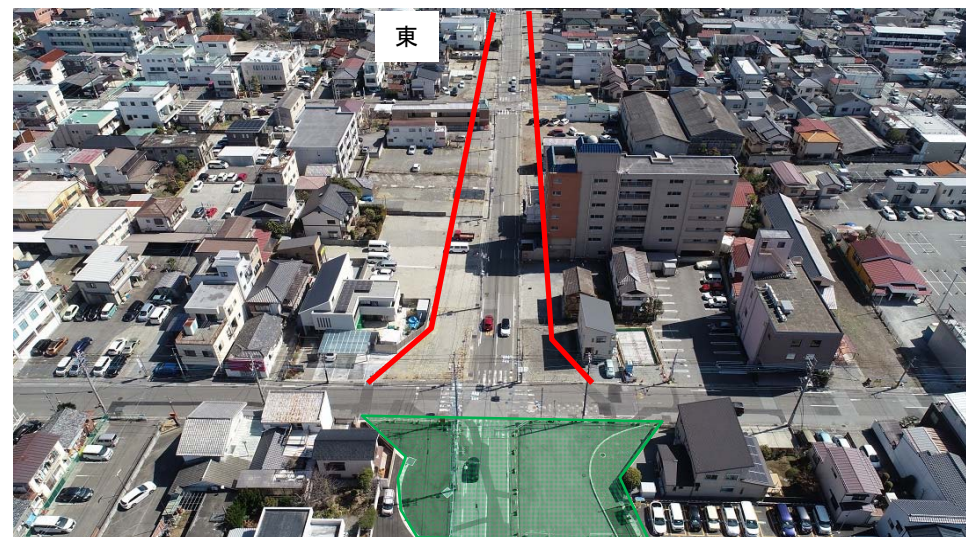
② 整備箇所



③ 整備箇所



④ 終点箇所



4.年度別事業費内訳表（変更計画の内容）

年度	変更事業費 (千円)	事業概要	進捗率 (%)
H24	21,568	測量、設計、調査	0.4
H25	37,744	測量、設計、調査	1.0
H26	107,840	測量、設計、調査、用地、補償	2.7
H27	48,528	用地、補償	3.5
H28	37,744	用地、補償	4.1
H29	758,170	用地、補償	16.5
H30	1,001,336	用地、補償	32.9
H31	1,090,670	用地、補償、電線共同溝、道路改良工事	50.7
R2	500,000	用地、補償、電線共同溝、道路改良工事	58.9
R3	400,000	用地、補償、電線共同溝、道路改良工事	65.4
R4	400,000	補償、電線共同溝、道路改良工事	71.9
R5	400,000	補償、電線共同溝、道路改良工事	78.5
R6	400,000	補償、電線共同溝、道路改良工事	85.0
R7	300,000	補償、電線共同溝、道路改良工事	89.9
R8	300,000	補償、電線共同溝、道路改良工事	94.8
R9	200,000	補償、電線共同溝、道路改良工事	98.0
R10	119,514	補償、電線共同溝、舗装工事	100.0
合計	6,123,114		